

■長編アニメーション映画■

——満蒙開拓と少年たち——

# 蒼い記憶

あおいきおく

監督＝ 出崎哲

原作＝「シリーズ戦争」編集委員会編「蒼い記憶」より(草上文化刊)

製作＝満蒙開拓・映画製作委員会

製作協力＝社団法人全国拓友協会

長野県開拓自興会

配給＝共同映画全国系列会議



大地よ！  
この真実を伝えてくれ。

少年たちの命の慟哭！  
満蒙開拓とは何だったのか。

DVD  
VIDEO  
90分

## 解 説

敗戦による混乱で数々の悲劇を産んだ満蒙開拓青少年義勇軍を描く初めての映画のDVD化です。

「八紘一宇」「五族協和」「王道楽土」のスローガンのもとに、満蒙開拓団の送りが始まったのは昭和7(1932)年でした。さらに、満蒙開拓青少年義勇軍の送りが開始されたのが昭和13(1938)年からです。14歳から15歳前後の少年をソ連国境に送り、開拓と警備にあたらせました。皇国のためという大義。故郷を離れた彼らを待っていたのは厳寒の地での過酷な生活と、ソ連対日参戦から始まる逃亡の日々。そして、多くの少年たちの命が失われました。満蒙開拓団の引き上げ時における悲劇は「中国残留孤児」という現代にも繋がる大きな問題となっています。

満蒙開拓の事実を子どもたちをはじめ全国民に知らせ、伝えていこうという意図で製作されたものです。

家が貧しいが故に、しかし軍国少年の意気に燃えて満州に渡る恭太。教師を辞めさせられた父と、中国の戦地で負傷帰還した兄をもち、師範学校にすすんだ健次。「希望の大地」で恭太が見たものは何だったのか。映画は、遠く離れて交流する二人の少年の目を通して「真実」を暴きます。少年たちの故郷が長野県なのは、義勇軍はじめ満蒙開拓団の送りが最も多かった県だからです。



映画をご覧戴いた方々からも、「アニメとは思えない迫力」「満蒙開拓の真実を初めて知った」「義勇軍の存在をとおして加害の真実を知った」「中国残留孤児がなぜ生まれたのか、はじめて分かった」という声が寄せられ、「戦後50年を語るに最もふさわしい映画」という高い評価を得た作品です。

監督 出崎 哲

ナレーション 香川京子

演出 棚橋一徳 脚本 小出一巳

絵コンテキャラクター 四分一節子

作画監督 清水恵蔵 / 小林ゆかり

美術監督 池信 孝

色彩設定 西川裕子 撮影監督 岡崎英夫

音響監督 清水勝則 音楽 中島優貴

編集 尾形治敏

制作プロデューサー 松崎義之

挿入歌エンディングテーマ 白鳥英美子

アニメーション制作 (株)マジックバス

□ このDVDの復元・変更・放送および業務上映は禁止いたします。

発売元

有限会社長野映研

〒380-0805 長野市柳町45

TEL 026-232-1226 FAX 026-232-8387